

平成21（2009）年 月 日

指定校認定に関する覚書

特定非営利活動法人情報オリンピック日本委員会（以下、「甲」という。）は、以下に記す条件のもとに、〇〇高校（以下、「乙」という）を第9回日本情報オリンピック(JOI 2009-2010)の指定校に認定します。

1. 乙は情報科学教育を積極的に行う努力をしてください。
2. 乙は、本件を担当する責任者の教員を決めてください。
3. 乙が希望すれば、甲は甲が指定した「商業ベースのプログラミング自習用 e-learning 講座」の受講料を補助し無料とします。ただし、受講できる乙の在校生数には上限があります。また、受講料補助対象者の総数にも上限があり、予定人数に達し次第、受講の申し込みを締め切ります。
詳細は別途定め、甲のウェブサイトで公表します。
4. 予選に参加した乙の有資格在校生の中から別途定める人数の成績優秀者（AランクまたはBランクであること）を予選合格とします。
「予選参加」とは、予選当日に予選実施システムにログインして解答に着手することを言います。
予選合格基準の詳細は甲が定め、甲のウェブサイトで公表します。
5. 甲は乙が指定校となることを公式ウェブサイトほかで公表します。
6. 情報オリンピック日本委員会が提携しているプログラミングコンテストから要請があった場合、乙の本件担当教員の氏名を同コンテストに知らせることにご同意ください。同コンテストの案内をお送りすることにだけに使わせていただきます。

甲：特定非営利活動法人情報オリンピック日本委員会
理事長 守屋 悦朗 印

上記の条件を確認し、指定校に認定されることを希望します。

乙：〇〇高等学校
校長 〇〇 〇〇 印
担当教員 〇〇 〇〇 印